

交通安全ニュースレター

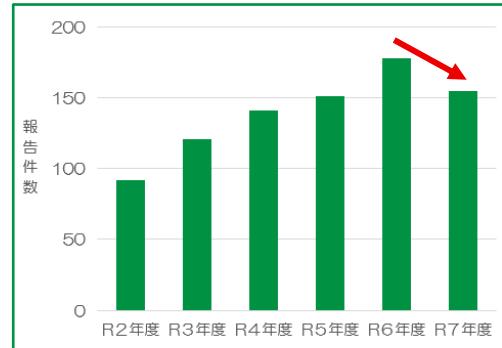
TRAFFIC SAFETY NEWS LETTER

教育庁指導部指導企画課
令和7年12月12日 第5号



令和7年4月から11月までの8か月間に学校経営支援センターから受けた交通事故報告件数は、前年度同期間と比較して23件減少し、155件となりました（右図）。

令和2年度から件数の増加が続いておりましたが、本年度は改善の兆しが見られます。自転車通学における乗車用ヘルメットの着用指導をはじめ、日頃より先生方に御尽力いただいている安全指導の成果が、着実に表れつつあるものと受け止めております。生徒の命を守るため、引き続き、交通安全教育の推進に御協力くださいますようお願いいたします。



図：各年度11月末現在における交通事故報告件数（令和2～7年度）

1 指導のポイント

※以下の三点のイラストは、生成AIにより作成しています。



歩行者の飛び出し、出会い頭衝突に注意！

交通事故報告件数は減少している一方で、自転車による登下校時に、歩行者と衝突する事故は増加しています。特に、被害リスクが高いとされる「幼児・児童」及び「高齢者」との事故件数は、前年度同期間と比較して1.25倍に増加しています。歩行者との事故が発生しやすい場面として、報告の多かった事例を以下に示します。

～歩行者との事故報告が多かった事例～



▶道路に面した住宅等からの飛び出し



▶見通しの悪い路地



▶信号のない交差点等での横断

事例のような歩行者との事故を未然に防ぐためには、交通ルールを遵守させるとともに、生徒一人一人の「危険を予測し回避する能力」を高めていく必要があります。「[安全教育プログラム（第17集 増補版）](#)」に掲載されている指導事例等を参考に、学校周辺で事故が起こりやすい箇所を生徒と確認する取組を実施するなど、効果的な交通安全教育の実施をお願いいたします。併せて、[自転車通学者の保険加入状況](#)については、毎年度、全学年を対象に確認していただきますよう御協力ををお願いいたします。

2 取組・実践紹介



都立東高校「自転車安全利用モデル高校」指定



都立東高等学校が、都立高校4校目となる「[自転車安全利用モデル高校](#)」に指定されました。指定書伝達式は、令和7年11月7日開催の同校創立60周年記念式典内において実施され、全校生徒及び教職員が見守るなか、城東警察署長から代表生徒に対し、指定書の交付及び記念品の贈呈が行われました。

同校では、自転車損害賠償保険への加入及び防犯登録、登下校時の乗車用ヘルメット着用等を自転車通学の条件として定めているほか、毎年4月には、江東区役所及び城東警察署の協力のもと、スケアード・ストレート方式による交通安全教室を実施し、交通安全意識の醸成を図っています。登下校時の乗車用ヘルメットの高い着用率や、同校生徒会が、城東警察署と連携して実施した、地域への交通安全啓発活動も高く評価されました。

▶ 参考：都立東高等学校 HP「[ニュース『部活動・学校生活』\(2025/11/11\)](#)」

3 お知らせ



「青切符」制度のショート動画を掲載

令和8年4月1日より、自転車の交通違反に「交通反則通告制度（青切符）」が導入されます。このことを踏まえ、都教育委員会は自転車に係る交通ルールの意識啓発を図るため、「[自転車交通安全特設](#)」ページ（安全教育・防災教育ポータルサイト内）に、**自転車ルール啓発動画「青切符で反則金！？」**を掲載しました。



↑ バナークリックで特設ページへ

この動画では、日常的に見受けられる4点の違反行為を、それぞれ約15秒程度で取り上げています。交通違反が、重大な事故につながることを、分かりやすく解説していますので、ホームルームや 全校集会での指導、また保護者会での理解・啓発など、様々な場面で積極的に御活用ください。

～自転車ルール啓発動画「青切符で反則金！？」～



▶ながらスマホ運転の禁止

▶イヤホン使用運転の禁止

▶歩道の危険走行の禁止

▶逆走（右側通行）の禁止

提供：都民安全総合対策本部総合推進部総合推進課